

Meteorological Society of Japan

日本気象学会
東京大会 2017

2016年12月吉日

日本気象学会2017年度春季大会 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。現在約4000名の会員を擁する本学会は、気象学・気候学・地球環境学・リモートセンシング・データサイエンスなどの諸科学分野の発展と協働を促し、気象予測、異常気象、災害の防止、水資源、大気汚染、地球温暖化などの課題の解決に取り組んでおります。さて、本学会では、来年度の春季大会を下記の通り開催いたします。例年通り、全国から約800名の会員の参加が見込まれます。

日本気象学会2017年度春季大会

開催期間 2017年5月25日(木)～28日(日) (4日間)

会場 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター

行事 1) 研究発表会(口頭・ポスター発表:4日間)

2) シンポジウム(第3日目午後)

3) 総会、懇親会(第2日目午後・夕方)

4) 展示会(機器、出版物)、その他

大会ウェブサイト <http://www.metsoc.jp>

本大会会場では、民間企業の事業・製品情報を多くの方々に広めていただくための**企業展示**を実施いたします。このほか、**リクルートブース**を設け、民間企業と学生・若手研究者の対話の場を提供いたします。

本大会は、学会員の奉仕により諸費用を切り詰めておりますが、それでも民間企業の皆様からの温かいご支援が無ければ、開催費用を賄うことが困難な状況です。つきましては、甚だ恐縮ではございますが、別紙募集要項をご覧ください、

(1) 広告掲載 (2) 企業展示 (3) 賛助寄付金

のうち、一つでも多くの項目へのお力添えをご検討いただけましたら幸甚に存じます。併せて、リクルートブースの出展もご検討いただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

(公益社団法人) 日本気象学会

2017年度春季大会実行委員長

中村 尚

(東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授)